

道の駅紹介 ≡ 担当者からのおすすめ情報



道の駅「ノンキーランド ひがしもこと」

大空町東藻琴地区の市街地国道334号と道道網走川湯線が交差する場所に建つ「ノンキーランドひがしもこと」。オホーツク管内では8年ぶり、大空町では2番目の道の駅として9月1日(金)にオープンしました。



女満別空港を利用して網走や知床、阿寒など道東観光の拠点として、地域交流の中心となる施設を目指します。

女満別空港を利用して網走や知床、阿寒など道東観光の拠点として、地域交流の中心となる施設を目指します。



私がお答えします

大空町地域振興課 主幹
小笠原 美恵子さん

■住所 / 北海道網走郡大空町東藻琴100番地(国道334号沿い) ■電話 / 0152-66-3600
■営業 / 9:00~18:00、【レストラン】11:00~15:00、17:00~21:00、【ホテル】チェックイン15:00から、チェックアウト10:00まで ■休館日 / レストラン・売店 年末年始(12/31~1/5)

Q.道の駅「ノンキーランドひがしもこと」の概要を教えてください。

A. ホテル、レストラン、売店、会議などで使用できる多目的ホールを兼ね備えた木のぬくもりあふれる2階建の複合施設です。「ホテルひがしもこと」は洋室ツイン18室、和室2室、オストメイト対応トイレ付きのバリアフリー洋室1室があり、最大66名宿泊できます。「レストランくるりんく」では、地元の新鮮な食材や

ル・交流室」は間仕切りを移動して一部屋として使用すると約80人の収容が可能です。

知床国立公園、阿寒摩周国立公園、網走国定公園に挟まれた地理的条件を生かし、誘客や情報発信基地として案内窓口の役割を担います。さらに、台風や暴風雪による通行止め発生時には、避難所としても機能します。

Q.道の駅で行われたイベントなどについて教えてください。

A. 8月31日に開所式を行い、道の駅登録証の伝達式や施設見学、祝賀会などを行いました。翌日のグランドオープンでは、東藻琴高等学校1年生によるくす玉割り、東藻琴そば打ち同好会によるわんこそばの無料提供を行いました。今後は道の駅が集客に向けたイベント企画を進めていきます。東藻琴芝

桜公園やチーズ生産など、地域特有の観光資源を活用して町の活性化を図ります。

Q.読者へのメッセージをお願いします。

A. 女満別空港を有する大空町は、オホーツク地域の玄関口として多くの観光客が訪れます。東藻琴地区には日本最大級の芝桜公園があり、5月から6月にかけてが見ごろ。毎年10月最終週の日曜日には「もこと山ぶきおろしマラソン大会」が開催されます。「ノンキーランドひがしもこと」は観光拠点として、地域交流拠点として愛される施設にしていきたいと考えています。皆さんぜひお立ち寄りください。



ランチで提供している牛ステーキセット

オホーツクの魚介などを活用した料理が自慢です。ランチ(11時~15時)のおすすめは、1日15食限定の「知床牛すきやき膳」(税込2,500円)。また、「オホーツク海鮮丼」や「牛ステーキセット」も人気です。「ショップあえ〜る」では、大空町の特産品はもちろん、道東エリアのお土産品を多数取り揃えています。会議や交流会に使用できる「多目的ホー



開所式の様子



道の駅から車で10分の「ひがしもこと芝桜公園」



道の駅「北欧の風 道の駅とうべつ」

「北欧の風 道の駅とうべつ」は石狩郡当別町当別太に9月23日(土・祝)にオープンした道内119番目の道の駅です。この地区にはスウェーデンの住生活をお手本に開



発された「スウェーデンヒルズ」があり、美しい街並みが広がっています。北欧の雰囲気と地元の食にこだわり、多彩なイベント開催の拠点となる道の駅としてスタートを切りました。



私がお答えします

株式会社tobe ゼネラルマネージャー
浦野 貴司さん

■住所 / 北海道石狩郡当別町当別太774番地11 ■電話 / 0133-27-5260
■営業 / 10:00~18:00 ■休館日 / 年末年始

Q.道の駅「北欧の風 道の駅とうべつ」の概要を教えてください。

A. 国道337号の札幌大橋からすぐのところであり、札幌市中心部から一番近い道の駅です。姉妹都市のスウェーデン王国レクサンド市にちなんだ北欧風のベンガラ色に大きな三角屋根の外観が特徴です。

館内には「北海道イタリアン」の提唱者である「トラットリア・ピッツェリア テルツィーナ」の堀川秀樹シェフが手がけるレストランや、町内の飲食店によるテイクアウトコーナー、地元の農業者が運営する新鮮野菜の農産物直売所、地元や姉妹都市の加工品が並ぶ地域特産品コーナー、「もち処 久大福堂」がプロデュースし、当別産の米を使った団子コーナーなどがあり、地元素材を生かした「食」にこだわった施設となっています。

空間デザインにもこだわりがあります。センターハウスのアトリウムは木を基調とした温かみのある内装で、三角屋根の高い天井は開放感にあふれています。また、スウェーデン発祥の家具メーカー「IKEA」プロデュースの椅子やテーブルが並び、施設の名称にある「北欧の風」が体感できます。

Q.道の駅で行われるイベントについて教えてください。

A. 開業日に当別町の姉妹都市である宮城県大崎市、愛媛県宇和島市の特産品を販売する姉妹都市フェアを開催しました。一部の商品は現地生産者が直接販売し、宇和島市名物のじゃこ天の実演販売もしました。

今後は道の駅が集客の拠点となるような企画を実施していきます。FMノースウェーブとのコラボ企画として、道の駅センターハウスのアトリウムで当別町出身のRihwaさんによる公開録音や、日帰りバスツアーなどを予定しています。



木を基調とした開放感のある内装



野菜ソムリエが提供するスープカレー

Q.読者へのメッセージをお願いします。

A. 「北欧の風 道の駅とうべつ」は地元素材を生かした「食」に特にこだわっています。旅行中のちょっとした休憩に、おしゃれにランチを楽しみたいときに、夕食の献立作りに、当別町のお土産物がほしいときになど、多様なニーズに応えられる施設を目指していますので、皆様の来館をお待ちしています。



薄焼きしたパンに様々な食材を挟んで食べるピアディーナ